

かわにし

令和3年
2021年
12月

市議会だより No.234

<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索

川西市議会
ホームページ



9月定例会+決算特集号 **もくじ**



市花りんどう

令和2年度各会計決算などを審議	2
常任委員会報告	
総務生活常任委員会	3
厚生文教常任委員会	4
建設公企常任委員会	5
審議結果等一覧・賛否の状況	6
決算委員会報告	
一般会計	8
特別会計	10
公営企業会計	11
一般質問	12

令和2年度各会計決算などを審議

令和3年第4回定例市議会は、8月26日から9月24日までの30日間の会期で開催されました。

今期定例会では、令和2年度一般会計、特別会計5会計、公営企業会計3会計の決算認定案件のほか、教育委員会委員の選任や市内2橋の橋梁補修工事の契約案件、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)対策や事業進捗に対応するための補正予算などの議案を審議しました。このうち一般会計及び特別会計の決算認定案件は、閉会中の決算審査特別委員会における審査を経て、10月26・27日に開催された第5回臨時会で認定し、その他の議案については、第4回定例会中にいずれの議案も原案可決・認定しています。

令和2年度は、一般会計で、歳入729.6億円、歳出720.8億円と、前年度に比べて30%を超える増額となっており、過去最大規模の決算額となっています。これは、コロナに対応するため、公施設等の感染予防対策や福祉施設、福祉施設従事者への支援、学

校におけるICT環境の整備、特別定額給付金の支給など多岐にわたる事業を実施したためで、その事業効果などについて、決算審査特別委員会で活発な議論を交わし、慎重な審査を加えたうえで認定しています。

また、9月定例会に提出された一般会計補正予算でも、公共施設へのWiFi環境の整備や修学旅行が中止になった場合のキャンセル料の負担などのコロナ対策経費が追加され、加えて、キャッシュレス決済サービスを活用した消費活性化によりコロナの影響を受けた事業者を支援するための経費を追加する補正予算が追加提出されています。

このほか、一庫新橋や知明さくら橋の補修工事を行うための契約案件を審議していますが、全国的に橋梁等のインフラの老朽化が課題となっており、市内約200橋の点検の状況や今後の修繕見通しなどについて、市の考え方を確認したうえで可決しています。

●第5回臨時市議会

第5回臨時市議会が、10月26日・27日の2日間の会期で開催されました。

第4回定例市議会に提出され、継続審査となりました令和2年度川西市一般会計及び特別会計決算認定案件の審議のほか、正副議長の選挙をはじめ、議会運営委員会委員や常任・特別委員会委員の選任など、議会の構成に関する案件が審議されました(第7面参照)。



年賀状はお出しできません

議員が、市民の皆さまへ年賀状(答礼のための自筆のものを除く)を出すことは、公職選挙法で禁止されています。

公正な政治活動をするため、皆さまのご理解をお願いいたします。

議会の活動状況

8月

- 2日○新型コロナウイルス感染症ワクチン接種調査委員会
- 19日○議会運営委員会
○市立病院整備調査特別委員会
- 26日○第4回市議会定例会(招集日)
○総務生活常任委員協議会
○新型コロナウイルス感染症ワクチン接種調査委員会
- 31日○議会運営委員会

9月

- 2日○第4回市議会定例会(第2日)
- 3日○第4回市議会定例会(第3日)
- 7日○総務生活常任委員会

○総務生活常任委員協議会

- 8日○厚生文教常任委員会
- 9日○建設公企常任委員会
- 10日○公営企業会計決算審査特別委員会
- 14日○議会運営委員会
- 16日○第4回市議会定例会(第4日)
- 17日○総務生活常任委員会
- 24日○第4回市議会定例会(最終日)
○議会運営委員会
○広報委員会
- 29日○市立病院整備調査特別委員会

10月

- 1日○一般会計決算審査特別委員会

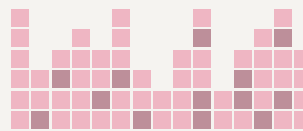
4日○一般会計決算審査特別委員会

- 5日○一般会計決算審査特別委員会
- 6日○特別会計決算審査特別委員会
- 7日○議会運営委員会
○広報委員会
- 13日○総務生活常任委員協議会
- 14日○厚生文教常任委員協議会
- 15日○建設公企常任委員協議会
- 19日○議会運営委員会
○厚生文教常任委員協議会
- 21日○新型コロナウイルス感染症ワクチン接種調査委員会
- 26日○第5回市議会臨時会(招集日)
○議会運営委員会

○議員協議会

- 27日○第5回市議会臨時会(最終日)
○議会運営委員会
- 11月
- 2日○広報委員会
- 16日○議会運営委員会
- 22日○議員協議会
○議会運営委員会
- 25日○第6回市議会定例会(招集日)
○議員協議会
- 26日○総務生活常任委員会
○広報委員会

常任委員会報告



総務生活常任委員会

委員 (委員長) 〇〇 副委員長 〇〇

◎坂口 美佳 ○麻田 寿美
吉富 幸夫 福西 勝 秋田 修一
中井 成郷 吉岡 健次 斯波 康晴

令和3年度川西市一般会計補正予算

(第5回) へ分割付託

質問 情報化事業では、市の公共施設にWiFi環境を整備する費用として、3010万5千円が計上されている。

今回はアステ市民プラザ、黒川公民館を除く公民館、中央図書館が対象とのことであるが、それぞれの施設の利用環境等の詳細について伺いたい。

答弁

アステ市民プラザでは、WiFi回線を設置し、利用者自身の端末で接続していただくことを想定しているが、公民館と図書館では回線は敷設せず、モバイルWiFiルーターとタブレットを各2台配備し、これをセットで貸し出す

ことで利用できるようにする予定である。また、ルーターのみを貸し出し、利用者自身の端末で利用することも想定している。

質問 文化振興事業では、芸術文化活動応援業務委託料700万円により、川西市ゆかりのアーティストに対する支援を実施するとのことであるが、詳しい事業内容について伺いたい。

昨年度は、コロナ禍で活動の場を失った本市ゆかりのアーティストを対象に、活動場所の提供や収入面での支援を行ったが、今回はアマチュアを中心に支援していきたいと考えている。

答弁

具体的な支援対象については、これから検討することとなるが、市が補助している芸術文化系団体に属する個人や、川西まちなか美術館などの事業を展開するグループで個展を開催している個人のほか、図書ボランティアグループなど、現段階では市として活動実績がある程度把握できる人を想定している。

その支援の内容としては、市の貸館業務が停止するなど制約が多い中で、感染対策を十分に行った上で活動する様子を動画としてホームページやSNSで配信するなど、アーティストの活動意欲が途切れないようなものを考えている。

令和3年度川西市一般会計補正予算 (第6回)

本案は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者を支援するため、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、キャッシュレス決済サービスを利用した消費活性化による事業者支援や、中小企業の事業力向上・感染防止への支援に必要な費用を追加しようとするものである。

質問

キャッシュレス決済サービスにはさまざまな種類があるが、今回の事業実施に当たり、決済サービス事業者を選定する基本的な考え方を伺いたい。

また、本事業に参加しようとする市内事業所が、対象となる決済サービスを今から導入しようとした場合、参加手続きに必要な期間や初期費用、手数料等について伺いたい。

答弁

今回の補正では、市内中小企業の経営継続に対する支援を目的としていることから、事業

所にとって導入による負担が少なく、また、多くの人に本事業を利用してもらうためにも、幅広く利用されている決済サービスを選択することで事業目的の達成が可能になると考えている。このため、基本的にはモバイル端末を用いたバーコード(QRコード)による決済サービスを提供することを選択している。

なお、バーコードを用いる決済事業者によると、利用登録は最短1週間程度で可能であり、バーコードを利用者側が読み取る形式であれば、サービス導入に係る費用はかからないが、導入後は決済サービス事業者の定める手数料が必要となることである。



厚生文教常任委員会

委員 (委員長 〇〇 副委員長 〇〇)

◎大矢根秀明 〇北野 紀子

中曾千鶴子 磯部 裕子 西山 博大

田中 麻未 江見 輝男 多久和桂子

津田加代子

川西市留守家庭児童育成クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、留守家庭児童育成クラブの待機児童解消を図ることを目的に、令和4年度から学校の夏季休業日の期間中のみの入所に当たり、育成料を定めるため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問 本年度、川西北小学校で夏季休業日の期間中のみの児童の入所を試行的に実施し、来年度からは他校でも本格実施すると聞き及んでいるが、同校で試行実施した理由のほか、その中で何を評価して本格実施するに至ったのか伺いたい。

回答 川西北小学校は、今年度、留守家庭児童育成クラブの待機児童数が最も多いことから、待機児童の解消を目的に試行実施したところである。その結果、同校の留守家庭児童育成クラブにおける夏季休業日の期間中のみの入所について、定員40名に対して23名の入所が

あり待機児童数の減少に寄与したものと考えており、来年度では多数の入所申請者が見込まれる学校から本格実施していきたいと考えている。

川西市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、「川西市子ども・子育て会議」と「川西市青少年問題協議会」を統合し、「川西市子ども・若者未来会議」を設置するため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問 「川西市子ども・若者未来会議」の設置により、「川西市子ども・子育て計画」と「子ども・若者育成支援計画」を統合することであるが、これまでの子ども・子育て会議と青少年問題協議会それぞれ審議してきた事項について、今後、包括的に調査し審議することができるのか、市の見解を伺いたい。

回答 令和4年度に「川西市子ども・子育て計画」の中間見直しと「川西市子ども・若者育成支援計画」の改定が予定されており、このタイミングで両計画を統合することで、子ども・若者施策を総合的に計画的に推進する考えである。統合に当たっては、しっかりと審議が行える体制づくりが重要であると考えており、今回の条例改正によって、生まれてから青少年、若者に至るまで一つの流れを踏まえた計

画策定ができる体制整備を図ってきたい。

令和3年度川西市一般会計補正予算(第5回)へ分割付託

質問 教育支援センター事務室跡「セオリア」は、相談室兼学習室を備えるなど、充実した空間が確保されているものと考えているが、密室環境も想定されることから、通所者に対する安全面への配慮や指導員配置の考え方について伺いたい。

回答 指導員の配置については、4名体制を基本としており、令和3年7月までの平均では通所者が平均13名となっている。今後、増加する可能性もあることから、施設面では、小学生のスペースの一部にカーペットを敷くことに



学びのスペース「セオリア」

よる安全面への配慮や、カウンターキッチンによるコミュニケーションツールの引き続き活用するほか、移転当初は、頻繁に職員による見守りを行う考えである。

質問 認可外保育施設等支援事業で120万円を計上している

この給付は市区町村が任意で実施する事業であると聞いているが、本補正予算として計上する理由のほか、この給付の案内方法を伺いたい。

回答 幼児教育無償化は国を挙げた事業であり、これまで無償化の対象外であった部分について国が制度化したことが、今回事業化を図った大きな要因であり、市としても支援していく必要があると考えている。

また、案内方法については、広報誌やホームページ等に掲載するとともに、施設から対象の保護者へのアプローチも必要と考えており、保護者、施設の両方に対して漏れがないよう行いたいと考えている。

反対意見 この給付費の補正予算計上に当たっては、対象施設の無償化への要件等の精査が不十分であるほか、そもそも各種学校を含む国の制度に疑問があり、賛成できない。

建設公企常任委員会

委員 (委員長) ◎◎ (副委員長) ◎◎

◎松隈 紀文 ○谷 正充
大崎 淳正 山下 隆志 岡 留美
黒田 美智 平岡 謙 小山 敏明
久保 義孝

市道898号橋梁補修工事請負契約の締結について

本案は、契約締結の日から令和4年3月31日までを工期とする一庫地内の市道898号橋梁（一庫新橋1号橋、2号橋）の補修工事を実施するため、工事請負契約を締結しようとするものである。

質問

この補修工事は、出水期（6月～10月頃）の工事を避けるため2回に分割して発注している。

発注先を同一業者とすることで、価格面での効果や施工品質の確保が期待できると考えるが、今回、契約の相手方を別々の業者とした理由を伺いたい。

答弁

今回の補修工事は、上部工と下部工を同時並行で行うことが困難であるため、出水期を考慮した上で分割して発注することとしている。

昨年度施行した工事では、上部の車道など市内業者が受注可能な内容で工事を行っており、今回の工事は、橋脚の耐震補強など専門知識や技術

を必要とするため、市外の業者が落札したものである。

また、本件は予算単年度主義をとる国の補助金を活用するため、重複する工事が発生しないように工種分けを行い、市内業者の育成や国費の獲得も考慮した結果、今回のような契約となったものである。



一庫新橋（上）・知明さくら橋（下）

質問

本補修工事は、道路橋長寿命命化計画に基づく定期点検の結果をもとに行うものと理解している。

一般的に、コンクリート橋の耐用年数が50～60年とされている中で、一庫新橋は供用開始から既に40数年が経過しているが、長寿命化修繕計画では架け替えより改修を得策とする論拠が明確でないことから、どれほどの長寿命化が図られるのか、市の見解を伺いたい。

答弁

長寿命化が図られる期間については、経年による疲労破壊等の程度にもよるため明言することは困難であるが、長寿命化修繕計画に基づき市内約200橋に対して5年に1回の点検を実施することとしており、国の制度等も活用しながら、橋梁の重要性や破損状況に応じた比較を行い、効率的な維持管理に努めることで、今後100年間で全体工事を41%縮小することを目指している。

市道1449号橋梁補修工事請負契約の締結について

本案は、契約締結の日から令和4年3月31日までを工期とする一庫地内の市道1449号橋梁補修工事（知明さくら橋）（その2）を実施するため、工事請負契約を締結しようとするものである。

質問

この橋梁は景観の優れた地域にあり、土地勘のない観光客等が工事を知らずに訪れる可能性がある。工事中は足場設置により道路の道幅が狭くなることから、ガードマンを配置し十分な安全対策に努めるとのことだが、その案内にかかると具体的な計画について伺いたい。

近くには兵庫県立一庫公園があり、多数の来園者の通過が予想されることから、同公園の入り口付近の知明りんどう橋から看板

答弁

等を設置するとともに、工事対象の知明さくら橋の手前でも注意を促す予定である。また、北の猪名川町方面の国道から進入する場合には本市との境界付近のほか、一庫ダム下流方面から進入する場合については堰堤周辺から案内する考えである。

令和3年度川西市一般会計補正予算（第5回）〈分割付託〉

質問

公共交通支援事業において、（仮称）川西市地域公共交通計画策定支援業務に係る継続費の年割額の変更に伴い委託料74万5千円を減額しようとする理由は、上位計画である総合計画の策定を1年遅らせるためとのことであるが、今回の判断に至った経過について詳しく伺いたい。

この計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正されて作成が努力義務化されたもので、本市においても、現在の川西市公共交通基本計画の目標年次である令和4年度からこの計画へ移行させるべく手続きを進めてきた。

答弁

しかし、上位計画である本市の総合計画の策定を1年遅らせることを受け、まちづくりと連携した地域公共交通ネットワーク形成の検討を行うこの計画も、併せて遅らせることにしたものである。

審議結果等一覧

第4回川西市議会(定例会)

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内容	審議結果等	付託委員会
報告第14号	令和2年度中に権利放棄した債権の報告について	住宅使用料、上水道料金 ほか	報告	-
同意案第19号	教育委員会委員の選任について	教育委員会委員の任期満了に伴い、倉見 昇一氏を選任する	同意 (全員賛成)	-
諮問第4号 ～第7号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、西垣通豊氏、小柳繁清氏、佐師 孝敬氏、田中里香氏を推薦する	//	-
認定第1号	令和2年度川西市水道事業会計利益の処分及び決算認定について	令和2年度川西市水道事業会計利益の処分を可決し、決算を認定する	原案可決 及び認定 (全員賛成)	公営企業 会計 決算特委
認定第2号	令和2年度川西市下水道事業会計資本剰余金及び利益の処分並びに決算認定について	令和2年度川西市下水道事業会計資本剰余金及び利益の処分を可決し、決算を認定する	//	//
認定第3号	令和2年度川西市病院事業会計決算認定について	令和2年度川西市病院事業会計決算を認定する	認定 (賛成多数)	//
議案第52号	市道898号橋梁補修工事請負契約の締結について	市道898号橋梁補修工事を実施するため、工事請負契約を3億5760万7382円で締結する	原案可決 (全員賛成)	建設公企
議案第53号	市道1449号橋梁補修工事請負契約の締結について	市道1449号橋梁補修工事を実施するため、工事請負契約を3億3186万4951円で締結する	//	//
議案第54号	川西市留守家庭児童育成クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	留守家庭児童育成クラブの待機児童解消を図ることを目的に、令和4年度から学校の夏季休業日の期間中のみにおける児童の入所を実施するに当たり、育成料を定める必要があるため、条例の一部を改正する	//	厚生文教
議案第55号	川西市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について	川西市子ども・若者育成支援計画と川西市子ども・子育て計画を統合することにより、子ども・若者施策を総合的、かつ計画的に推進し、子どもから若者まで、途切れることのない支援を実施すべく、「川西市子ども・子育て会議」と「川西市青少年問題協議会」を「川西市子ども・若者未来会議」に統合するため、条例の一部を改正する	//	//
議案第56号	令和3年度川西市一般会計補正予算(第5回)	歳入歳出予算の総額に6518万6000円を追加、歳入歳出予算の総額は569億1605万3000円	原案可決 (賛成多数)	総務生活 厚生文教 建設公企
議案第57号	令和3年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第2回)	国及び県から交付される介護給付費等の精算に加え、地域資源情報を一元的に管理するICT管理ツールの導入や法令改正に対応するためのシステム改修に係る費用を追加	原案可決 (全員賛成)	厚生文教
議案第58号	令和3年度川西市一般会計補正予算(第6回)	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者を支援するため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、キャッシュレス決済サービスを活用した消費活性化による事業者支援や中小企業の事業力向上・感染防止への支援を実施するために必要な費用を追加	//	総務生活
報告第15号	令和2年度川西市一般会計予算継続費精算報告について	清掃事務所整備事業、中学校給食実施準備事業	報告	-
認定第4号	令和2年度川西市一般会計決算認定について	令和2年度川西市一般会計決算を閉会中の継続審査とする	継続審査 (全員賛成)	-
認定第5号	令和2年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	令和2年度川西市国民健康保険事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第6号	令和2年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	令和2年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第7号	令和2年度川西市介護保険事業特別会計決算認定について	令和2年度川西市介護保険事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第8号	令和2年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定について	令和2年度川西市用地先行取得事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
認定第9号	令和2年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算認定について	令和2年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	//	-
請願第2号	議会動画のライブ配信の実現を要望する請願書	川西市議会の議会動画について、本会議のライブ配信を要望する。併せて、常任委員会や特別委員会、議員協議会の配信(ライブまたは録画)も要望する	//	議会運営 委員会

第5回川西市議会(臨時会)

※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
報告第16号	専決報告について 専決第5号 令和3年度川西市一般会計補正予算(第7回)	新型コロナウイルスワクチン接種の実施に要する費用のうち、集団接種体制の前倒しや拡充に加え、接種率の向上に伴う会場運営等に係る経費のほか、兵庫県国民健康保険団体連合会等に対する接種の委託料などに増額が生じ、早期に対応が必要となったため、国庫負担金をその財源とし、専決処分により追加補正をしたもの	承認 (全員賛成)	-
認定第4号	令和2年度川西市一般会計決算認定について	令和2年度川西市一般会計決算を認定する	認定 (賛成多数)	一般会計 決算特委
認定第5号	令和2年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	令和2年度川西市国民健康保険事業特別会計決算を認定する	//	特別会計 決算特委
認定第6号	令和2年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	令和2年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算を認定する	//	//
認定第7号	令和2年度川西市介護保険事業特別会計決算認定について	令和2年度川西市介護保険事業特別会計決算を認定する	認定 (全員賛成)	//
認定第8号	令和2年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定について	令和2年度川西市用地先行取得事業特別会計決算を認定する	//	//
認定第9号	令和2年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算認定について	令和2年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算を認定する	//	//
選挙第1号	議長の選挙について	議長の辞職に伴い、新しい議長を選出する	選挙 (投票)	-
選挙第2号	副議長の選挙について	副議長の辞職に伴い、新しい副議長を選出する	//	-
同意案第20号	監査委員の選任について	監査委員の辞職に伴い、新しい監査委員を選出する	同意 (全員賛成)	-
選任報告第1号	議会運営委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい議会運営委員会委員を選任する	報告	-
選任報告第2号	常任委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい常任委員会委員を選任する	//	-
選任報告第3号	特別委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい特別委員会委員を選任する	//	-
選挙第3号	猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員の選挙について	組合議会議員の欠員に伴い、新しい猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員を選出する	選挙 (指名推選)	-

賛否の状況

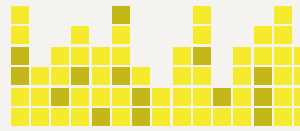
※賛否が分かれたもののみ掲載

賛成：○ 反対：×

議案名	議員名	市民クラブ “改革の風”					川西まほろば会					公明党				明日のかわにし				日本共産党 議員団			無所属				
		岡留美	福西勝	中井成郷	谷正充	津田加代子	西山博	松隈紀文	磯部裕子	秋田修一	久保義孝	大矢根秀明	大崎淳正	麻田寿美	平岡謙	江見輝男	小山敏明	田中麻未	坂口美佳	多久和桂子	北野紀子	吉岡健次	黒田美智	吉富幸夫	中曾千鶴子	山下隆志	斯波康晴
第4回 定例会	認定第3号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×
	議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
第5回 臨時会	認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	
	認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	
	認定第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	

※地方自治法の規定により、平岡謙議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

決算委員会報告



一般会計（歳入）

質問 キセラ川西地区の開発の進展による法人市民税の増収が期待されたが、コロナ禍で事業環境が厳しい中において、法人市民税の収納状況について市の見解を伺いたい。

したことによるものと考えているが、市内で7社の法人が減少している実態もあることから、同地区においても影響を受けているものと認識している。

答弁 法人市民税は、全体としてコロナ禍の影響等により減少している。その要因の多くは、均等割の税率の法人区分が下方へ移行

質問 地方消費税交付金の収入額が対前年度24・9%増となっているのは、令和元年に消費税が10%へ引き上げられたことに伴うものと思われるが、増税による増収分で本市における子育て支援施策の財源を充足できているのか。

答弁 本市における地方消費税交付金の使途の内訳は、子ども・子育て支援を含む社会保障の充実分と医療給付などの社会保障安定化分であるが、幼児教育・保育の無償化の財源については、その他の一般財源も含めて確保される形となっている。



キセラ川西せせらぎ公園

質問 ふるさとづくり寄附金は市民税の税額控除の対象となる

り、川西市民が他自治体に寄附すると本市の税収が減少する仕組みになっているが、本市への寄附額と税額控除に伴う減収額との収支状況のほか、この制度についての市の評価を伺いたい。

答弁 市民が他自治体に寄附したことによる税額控除を単純に差し引きした額は約1億3900

質問 民間企業と連携してICTを活用した部活動支援や不登校生徒の支援を実施されているが、現在の状況と今後の事業展開について市の考えを伺いたい。

答弁 部活動支援については、近年、教師が未経験の種目の部活を引き受けざるを得ない状況があることから、生徒・教師の両方にとってプロの指導者から指導を受けられることに利点があった。

また、不登校生徒の支援については、教師との画面を通じた対話は抵

一般会計（歳出）

万円のマイナスになるが、減収分の75%は国から交付税措置されることになっている。

この制度は、各自治体が納めてもらうのにふさわしい地域づくりをすること等が本来の意義であり、金額の多さや収支だけにとらわれるべきではないと考え、今後も継続すべきものと評価している。

抗感が低く、登校できるようになった生徒もいることから、非常に有効であったと評価しており、いずれの支援についても、教育委員会でき引き続き取り組んでいく考えである。

質問 市内で保育施設が新設されているにも関わらず、令和3年3月現在で待機児童が1336名となっていることから、その解消に向けた取り組み状況について伺いたい。

答弁 待機児童が解消されないのは、保護者が希望する施設に

- ◆一般会計決算審査特別委員会
- ◎江見 輝男 ○山下 隆志
 - 吉富 幸夫 磯部 裕子 西山 博大
 - 岡 留美 吉岡 健次 黒田 美智
 - 田中 麻未 平岡 謙 小山 敏明
 - ス波 康晴 津田加代子

- ◆特別会計及び公営企業会計決算審査特別委員会
- ◎久保 義孝 ○福西 勝
 - 大崎 淳正 麻田 寿美 中曾千鶴子
 - 松隈 紀文 秋田 修一 中井 成郷
 - 坂口 美佳 大矢根秀明 多久和桂子
 - 北野 紀子 谷 正充

委員長=◎
副委員長=○

入所できないことが原因であると考えられており、今後、マッチングの精度を高めるとともに、既存の企業主導型保育施設等の活用を行いながら、待機児童の解消に努めていきたい。

質問 母子保健推進事業において実施した10カ月児健康診査の受診率は33%にとどまっているが、その要因について伺いたい。

答弁 コロナ禍で来所による健診が困難な状況であったため、郵送によるアンケートに回答する方法に切り替えたことから、受診率としては低下している。

しかし、アンケートの内容で保健師が不安を感じる方には個別に電話で相談に応じたほか、必要に応じて訪問するなど、フォローできているものと考えている。

質問 商工振興事業で実施した電子プレミアム付商品券事業は、募集口数4万口に対して購入者数は2万3391人とどまっているが、市としてこの要因をどのように分析しているのか伺いたい。

答弁 募集口数は、対象となる住民数、スマホ利用率や無料通信アプリの使用者数のほか、前年度に実施したプレミアム付商品券事業の実績を考慮して算定したが、この事業とは別に、消費が多い子育て世

帯向けの同種の事業を同時期に実施した影響で購入者数が募集口数を大きく下回ったものと考えている。

質問 街路樹の根上がり問題については、平成30年度に実施した街路樹調査を踏まえ、2年度は15本について対策を施したとのことであるが、この根上がり問題についての市の取り組み状況を伺いたい。

答弁 平成30年度の街路樹調査では25本の根上がりを見出し、その後新たに6本が見つかったため、当年度の15本に続き、令和3年度には残る16本を施工する予定としている。

市では、公園緑地課がチェーンソーにより地面近くの高さで伐採し、道路整備課が切り株や根の除去を行った後、基本的にはアスファルト舗装により復旧している。



街路樹の根上がり

質問 救急出動については、現着所要時間が平均7・2分と、非常に迅速な対応ができていると認識している。

しかし、到着に10分以上を要している地区もあり、この点についての分析と改善に向けた方策を伺いたい。

答弁 これらの地区については、最寄りの消防署から出動できなかつたり、目標物のない場所がなかなか現場が特定できない事案があった。

対策としては、出動までのさらなる時間短縮やナビによる最短ルートの確保、他市町との相互応援協定の活用などが考えられる。

質問 国のGIGAスクール構想により、学校内のネットワークの更新や全児童・生徒へタブレット端末の配備を行っているが、端末の故障等の発生状況や、維持管理経費の取り扱い等について伺いたい。

答弁 タブレット端末の破損等については、令和3年3月末までに140件発生しているが、修理に時間を要する場合は予備の端末を用意し、授業等に不都合が生じないように配慮している。業者への修理依頼は、メーカー保証の範囲内で対応しているため費用は発生していない。

が、保証期間経過後の対応について検討していく必要があると考えている。

反対意見 教育現場や救急隊をはじめ、コロナ対策に取り組む職員の姿勢は評価する。

しかし、会計年度任用職員は正職員数を上回る状況にあり、特に資格を要する職に配置された例もあることから、これらの職員が安心して働ける環境整備が必要と考える。

また、市民病院移転に際しての北部診療所案の変更など、市が諸課題を進めるに当たって市民の意見が十分に反映されているとはいえず、本決算については認定できない。

賛成意見 ポストコロナ社会に対応する新たな生活様式を見据えた取り組みを引き続き行うとともに、コロナ禍で実施できなかった事業についても、今後の進捗に期待する。また、当年度に発生した福祉施設における補助金の不正受給については、再発防止を強く求めるものである。

また、本市の人口が減少傾向にある中で、継続した行財政改革に取り組まれるほか、コロナ対策に万全を期し、市民の何気ない日常を一日も早く取り戻すため尽力されることに期待し、本決算を認定する。

【委員会審査の結果：認定】

特別会 計

国民健康保険事業

質問 特定健診受診率が、前年度より2.5ポイント減の32.5%となり、目標値41・1%に達していないが、一定の受診率の確保は重要と考えることから、受診率の向上に向けた取り組みを伺いたい。

答弁 協会けんぽとの連携により、土日を含めて出張特定健診会を4回行うなど、休日の受診機会を提供できたと考えているものの、コロナ禍の影響もあり、受診者数は想定よりも低調であった。

このため、同日の乳がん検診に38名が受診した当年度の実績を踏まえ、3年度、複数のがん検診を受診できる出張特定健診会を実施している。

反対意見 国保税が高額とならざるを得ない構造的な問題の解決には公費の投入が必要と考え、そのような中で、税率改定や賦課限度額が引き上げられた本決算は認定できない。

賛成意見 特定健診や各種がん検診の受診率の低調さについては課題があるが、先進事例を研究するなど受

診率向上に向けた更なる取り組みに期待し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】

後期高齢者医療事業

質問 2年度は、兵庫県後期高齢者医療広域連合で均等割額、所得割率ともに改定され、保険料は前年度に比べ約1億5700万円増の29億4142万円を収入している。

今回の保険料改定は、制度導入以降6度目の引き上げとなり、加入者への負担の影響が大きいと考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁 保険料率は、診療報酬の改定に合わせて2年ごとに見直すこととされている。

医療が高度化し被保険者数が増加する中で、増大する現役世代への負担を抑制するためには、保険料率の増額改定はやむを得ないものと考えている。

反対意見 保険料賦課限度額が引き上げられ、低所得者に対する軽減措置も縮小・廃止されており、受診抑

制に拍車をかける内容となっている。本決算は認定できない。

賛成意見 本市は、近隣市と比べても高齢化が進行しており、後期高齢者に必要な医療サービス提供の維持に取り組みられることを要望し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】

介護保険事業

質問 2年度、介護予防の普及啓発を行う「いきいき元気倶楽部」の実施回数が減少する一方で、転倒予防等を目指す「きんたくん健

幸体操」は前年度と同回数を実施しており、参加者数は、前年度より35人増加し699人となっていることから、コロナ禍での実施状況を伺いたい。

答弁 「きんたくん健幸体操」は、自主活動グループが開催可能な時に集まって実施されており、その際に地域包括支援センターがフォローしている。

また、センターが早い段階から各グループにリーフレットを配布してフレイル予防の啓発を行い、再開するグループには感染予防環境を調整しながら実施したところである。

賛成意見 介護保険制度は、サービ

ス利用の増加や介護職の労働条件の改善が、介護保険料やサービス利用料に反映される矛盾を抱えている。

今後、介護保険料やサービス利用料の高騰を抑え持続可能な制度とするため、国に財政負担を求めていくことを要望し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】

用地先行取得事業

質問 土地貸付収入のうち、栄根2丁目地内の土地については、前年度と同じ面積にもかかわらず貸付収入が減額となっているが、その理由について伺いたい。

答弁 この土地については、呉服橋本通り線拡幅事業の進捗に伴い、兵庫県と兵庫県土地開発公社へ売却するめどが立ち、貸付の契約期間を通年ではなく、4月から11月末までとしたことから、貸付収入が減額となったものである。

【委員会の審査結果…認定】

中央北地区土地区画整理事業

質問 パークオフィスセラ丸は、当初、年間を通じた開放が予定されていたにもかかわらず、

公園がにぎわう土曜日・日曜日に開放しない運用となっているが、当年度中に土日開放に向けた検討はなかったのか。

答弁 市民自身が多少の不便を体感することで、自らの手で開放するという機運が高まることを期待し、土日にキセラ丸を開放していかない。

この結果、平成31年に立ち上げられた「この指トマレプロジェクト」が、キセラ丸のあり方について議論

公営企業会計

水道事業

質問 令和5年度までの継続事業である「けやき坂・清和台配水区域水道基幹施設再構築耐震化事業」について、公募型プロポーザルによるデザインビルド方式によって再構築した結果、事業費を大幅に減額されたものと聞き及んでいるが、この事業に対する評価と市全体の水需要の現状について伺いたい。

答弁 事業費が減額された要因は、設計と施工を一元化するなどの合理化や、ダウンサイジング等に伴う適正化による経費削減の結

を続けていることから、この議論の方向性を見守っていききたい。

【委員会の審査結果：認定】



パークオフィスキセラ丸

果である。

本市の1日最大配水量は9万100立方メートルで計画しているが、現状は5万立方メートル前後で推移しており、計画値から約60%の水需要である。このため、非常時の体制も視野に入れ、供給水が融通できるよう管網の構築を考えている。

賛成意見 コロナ禍に伴う料金の減免措置を大いに評価する。今後とも、生活困窮者へ丁寧な対応に努めるとともに、新水道ビジョンの施策や事業を着実に進められることを要望し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果：原案可決及び認定】

下水道事業

質問 鼓が滝1号雨水幹線外監視設備設置工事を418万円で実施され、監視カメラを3カ所に設置しているが、その効果や将来を展望した課題について伺いたい。

答弁 カメラの設置効果は、豪雨時などに職員間で現場の状況を容易に共有することが可能となり、緊急対応を依頼する業者とも連携しながら、即座に現地に対応を決定できることである。

また、課題としては、近年の降雨の状況から、設置箇所だけでなく、周辺からの雨水流入等の状況把握が必要であり、流域全体を見据えたりスク回避策の必要性が見えてきた。

賛成意見 下水道事業においては、新ビジョンに定める計画に沿って事業が進められているものの、近年は想定する以上の災害が発生しており、早急な対策が求められている。令和3年度からは浸水シミュレーションを実施し、その結果に基づき内水浸水対策を進めており、防災・減災という観点での取り組みを、今後もより一層着実に推進されるよう期待し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果：原案可決及び認定】

病院事業

質問 令和2年度は、外来患者が前年度に比べて11.8%減少する一方で、入院患者数が3.4%増加している。

この点について、どのように分析しているのか伺いたい。

答弁 近くの総合病院で新型コロナウイルス感染が横行し、救急や入院患者の受け入れを停止する事態となった。そこで、川西病院では、休床していた4階北病棟を11月に再開するなど、入院患者を積極的に受け入れた結果、大幅な入院患者数の増となっている。

反対意見 当年度は院内感染を起ささないだけでなく、早い段階から感染症患者を受け入れるなど、スタッフ一丸となって公立病院としての役割を十分果たしたことは、感謝の意を表するものである。

しかし、現病院跡地への民間医療法人の移転はパンデミックを想定から除外した上で病床削減を推進しようとする国の地域医療構想に基づくもので、市民意見にも反するものがあることから、本決算は認定できない。

【委員会の審査結果：認定】

一般質問

子ども

多子世帯の支援に向けた取り組みを

川西まほろば会 松隈 紀文

質問

平成27年に市が行った調査では、「将来持つ予定の子どもの数は理想より少ない」とする人に理由を尋ねたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が最も多い結果となっている。出産や育児はいろんな面で負担が増えるが、それを理由に子どもを産み育てることを断念することなく、安心して子育てできる環境を整えることが、結果としてまちの活性化や住宅都市としての魅力を維持、向上させ、少子化対策につながるかと考える。

特に子育ての負担が大きい3人以上の子を養育する多子世帯には、他自治体で給付金などの支援策が実施されていることから、本市においても同様に取り組む考えはないか。

答弁

本市の子育て支援策は、子ども子育て計画に基づいて推進して

おり、その中には、児童手当における第3子以降への加算といった国の施策も含まれるが、市独自で多子世帯に特化した支援策を積極的に取り組んでいる状況にはない。

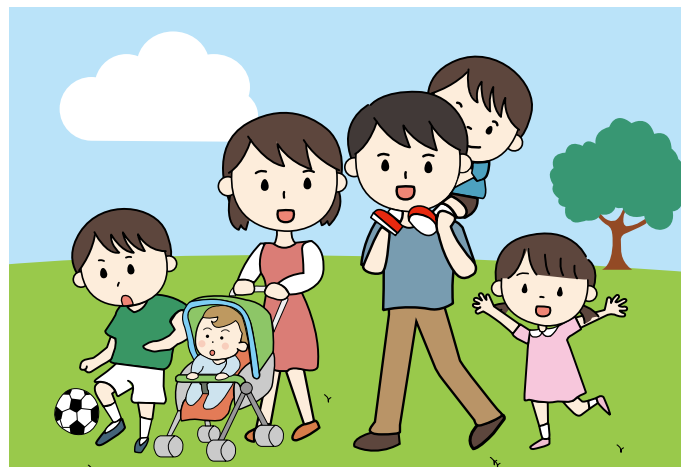
子育て世帯への支援は、社会保障や雇用、教育・保育など分野が多岐にわたるため、国や県と適切に役割分担し、さまざまな施策をバランスよく実施する必要があると考えており、今後子どもたちの成長を支え合える施策を総合的に推進することで、多子世帯への支援も着実に進めていく方針である。

ただ、経済的理由が持ちたい子どもの数に影響する点は課題の一つと認識していることから、他自治体の事例を研究し、今後の施策展開に活かしていきたい。

答弁

子どもの1人が病気の際に、他の子どもたちを誰が支えるかなど、多子世帯には経済面だけでは無い特有の課題があり、それらを丁寧に抽出して議論を深める必要性は認識している。しかし、その課題に充てる財源には限り

があり、市政を推進する上では、子育て世帯全体への支援を優先していきたいと考えている。



福祉

聴覚障がい者への合理的配慮の状況問う

公明党 大崎 淳正

質問

本市では「(仮称)川西市手話言語条例」の制定に向けた検討を進められており、言語のバリアフリー化促進が大いに期待される。

しかし、手話とは文法が異なる日本語の文章理解が難しい人がいることはあまり知られておらず、「聞こえ」の障がい

は理解されにくい面があることから、聞こえない人と聞こえる人との相互理解の促進が必要であると考えます。

そのためにも、条例とともに障害者差別解消法に基づく合理的配慮は不可欠であるが、例えば、新型コロナウイルスの集団接種に関する予約や接種会場での対応、あるいは、病院受診時の手話通訳者派遣依頼に関する利便性確保の状況について市の見解を伺いたい。

答弁

65歳以上のワクチン接種は電話予約を基本としたが、聴覚障がいのある方には、事前に対象者を把握した上で専用の用紙を送付し、ファクスで予約を受け付けている。また、65歳未満では、ウェブ利用に慣れていない方が圧倒的に多いと判断したため、予約方法を絞ったものである。

集団接種会場での対応については、手話通訳者などを伴って来場される方が多いと聞き及んでいるが、受付で障がい者が確認できた時点で、会場責任者等がホワイトボードを用いた筆談を行うなど、適切に個別対応している。

答弁

市では、聴覚障がい者の生活に必要な情報の取得や利用、意思疎通の手段確保に関する取り組みとして手話通訳者の派遣事業を実施しており、入院などで自身が派遣申請できない場合でも、病院等からの連絡をもって手話通訳

者を派遣するなど柔軟な対応をとることにより、合理的配慮を行っている。今後、聴覚障がい者の利便性の確保が一層図れるよう、医療機関に対する案内方法を検討していきたい。

その他の質問項目

○南部航空機騒音対策の進捗状況について



障害福祉課窓口

見が重要な要素であると認識している。しかし、いわゆる第5波までの間には、症状の表れた人から実施した保健所の検査体制が逼迫したことから、今後は、比較的安価な自動検査機の認可や民間による検査機関の増加を踏まえて医療機関や保健所と連携し、市として検査体制を構築する必要があると考えるが、市の見解を伺いたい。

また、医療崩壊を防ぐため、医療従事者等の感染防止は不可欠と考えることから、医療機関の関係者や患者が、何回でも検査を受けられるよう、市が主体となって体制を構築する考えはないか伺いたい。

答弁

PCR検査などの行政検査は、保健所機能を持つ県や政令指定都市等が実施することとなっていることに加え、検査自体の精度は100%ではなく、保健所の調査や医師の管理のもとで実施することが検査の正確性を高めることになる。加えて、検査機関の増加だけが感染拡大を予防するものではないと認識していることから、市が主体となって検査機器を設置、運営する考えはない。しかし、感染者等に対するアプローチが保健所にとって業務過多となり、そのため検査が遅れるという事態は市として憂慮すべき点であることから、自宅療養者への生活物資の支給や、保健所から

の依頼に基づくパルスオキシメーターの配付といった面で保健所の支援に努めている。

また、各医療機関では、職員の健康管理について、日々の体調チェックを徹底することで適切な対応が図られているほか、患者についても、入院時に家族から体調や行動歴を確認するなど、着実に対策がとられているものと考えている。

その他の質問項目

○市民の移動権・交通権を守る取り組みについて

保健

「MY助産師制度」導入の考えはないか

市民クラブ、改革の風、谷 正亮

妊産婦が喜びや期待とともに抱えている多くの不安については、継続したケアを行うことで、うつ病や虐待などを未然に防ぎ、育児への不安を軽減できると思われる。

市では、第2期子ども・子育て計画において、親と子のいのちと健康を守る施策の中で、産前から産後、子育て期の一貫したサポート体制として、助産師や保健師などの専門家が子育ての相談や情報提供、アドバイスを行う（仮称）子育てコーディネーター事業を行うとしてい

る。そうした一貫したサポート体制として、妊娠初期から出産・産後まで同じ助産師のケアを受けることができるMY助産師制度の導入を検討する必要があると考えるが、子ども・子育て会議に部会を設置しての検討や兵庫県の事業を活用するなど、市として取り組む考えはないか伺いたい。

答弁

MY助産師制度については、妊産婦や子育て支援に効果的であると認識しているが、助産師の人材確保や連携、バックアップ体制の確立などの課題があり、現在のところ、本市で実施するという方向性に至っておらず、子ども・子育て会議での部会設置等も含め、今後、必要に応じて検討を進めていくべき課題であると考えている。

一方で、助産師による支援やケアは重要であると認識しており、産前から産後の期間に支援が途切れることのないよう、助産院や病院、助産師の協力も得て、産後の相談やケアの充実を努めているところである。

現在、令和4年度中の実施を目指し、（仮称）子育てコーディネーターの検討を進めているところであり、この事業において、地域の身近な場所で気軽に相談に応じ、それぞれの事情に即したきめ細やかなコーディネーター機能を整備して、

保健衛生

「新型コロナ」検査体制の拡充を

日本共産党議員団 吉岡 健次

質問

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の拡大収束には、検査を拡充することによる感染者の早期発

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の拡大収束には、検査を拡充することによる感染者の早期発

妊産婦に一貫して寄り添い支える機能の実現を図っていきたくと考えている。

その他の質問項目

○化学物質過敏症の啓発について

安全対策

「土砂災害特別警戒区域」住民への啓発は

日本共産党議員団 北野 紀子

質問 近年、気候変動による豪雨災害が全国各地で発生し、本市を含めどの地域も被災地になる可能性があることを認識している。本市では、土砂災害特別警戒区域（レッド区域）、土砂災害警戒区域（イエロー区域）が点在しており、特にレッド区域の住民からは、自力での安全確保には限界があるとの声が上がっている。

各戸の居住人数や家族構成、年齢層、要援護者の有無といった詳細情報を市が把握し、啓発をはじめとする対策を行う必要性を感じるが、市の見解を伺いたい。

また、県では、レッド区域内から移転する場合や、防護壁等を整備する場合に経済的支援を行っているが、この利用実績のほか、市として独自支援を実施する考えについて伺いたい。

答弁

レッド区域については、令和元年度までに42戸を対象として把握

し、翌年3月には新たに24戸が追加されたため現在は66戸となっている。当初の42戸には職員が戸別訪問して注意喚起等を行ったのに対し、後の24戸にはコ罗纳禍により実施できていない状況である。熱海市の大規模土砂災害の例もあることから、今後、レッド区域の戸別訪問を進める中で、聞き取り調査により各戸の世帯状況の把握にも努める考えである。



防災マップ・防災グッズ

加えて、市では令和2年7月にハザードマップを更新しウェブ版を公開するとともに、市域を3分割した紙版の地図を公民館や消防署などに配置し、広く危険箇所の案内に努めている。

また、レッド区域内居住者に対する支援については県が実施していることか

ら、今のところ市独自で行うことは想定していない。しかし、これまで県の制度は利用実績がないことから、対策工事の発注先を検討する際の業者に関する情報提供など、制度利用に関して不安を払拭するためのフォローについては、市独自で十分対応が取れる仕組みを検討していきたいと考えている。

環境保全

「カーボンニュートラル」市の取り組み姿勢を問う

明日のかわにし 小山 敏明

質問 本市における温室効果ガス削減に向けた取り組みは、環境率先行動計画により進められており、第4次計画では目標に達しておらず、昨年度からは4・8%削減を目標とする第5次計画をスタートさせている。

国は、2050年のカーボンニュートラルに向けてさまざまな方を提示し、これには新築公共施設への太陽光発電設備設置の標準化や、既存施設への設置推進が含まれることから、本市において建設中の公共施設のほか、既存施設での取り組みについて伺いたい。

また、環境問題は、世界レベルでの動向や国の対応が急速に変化することから、これに合わせて目標や施策を転換す

るなど、これまで以上に目標達成に向けた市の姿勢が問われることになると認識しているが、市の考えはいかがか。

答弁

現在建設中の川西市立総合医療センターでは、建設事業者の公募の段階で環境負荷の低減を要求水準として求め、3階屋上への5・1キロワットの太陽光発電設備の設置や省エネ型設備機器導入、屋上の緑化などの取り組みを進めている。

また、同じく建設中の（仮称）川西市中学校給食センターについても、太陽光や風力による発電機能を備えた屋外灯を設置するほか、ガラスパーキング等による緑化、省エネ性能に優れた調理設備導入などの提案を事業者より受け、整備を進めている。

既存施設への太陽光発電設置については、機器類や工法の進歩は承知しているが、施設の耐久性や今後の活用計画などを総合的に考慮する必要があるため、国の動向等を踏まえながら慎重に検討を進めたい。

答弁

世界や国の地球温暖化への動きが加速する中で、令和5年度にかけて川西市環境基本計画を策定することとしており、これに合わせて問題点等を改善する考えである。

その他の質問項目

○労務管理システムの運用状況について

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会 検索

「東谷中学校の通学費補助」
保護者負担の軽減を

市民クラブ、改革の風、中井 成郷

質問 東谷中学校に通学している生徒のうち、相当数が電車を利用して通学しており、中には最寄り駅までバスを利用している者もいるが、本市では、

休校中の黒川小学校区から同中学校へ通う者を除いて通学費用に対する補助がなく、全て自己負担となっている。

公立中学校において一部の家庭に経済的負担を強いることは教育の機会均等に反しているものと思われ、早急に補助が受けられるよう、かねてから保護者が市に対して求めているが、実現していないことから、改めてこの問題に対する市の考え方を伺いたい。

答弁

同中学校における通学費補助は、国の通学距離基準を超える黒川小学校区の生徒のみに対して実施している。その他の地域については、市内全域が基準の範囲内に当たるため補助を行っていないが、そのことをもって教育の機会均等に反しているという認識はない。

また、市教委として、保護者が一定の費用を負担し、公共交通機関により通学している生徒がいることは把握している

が、基準内では徒歩通学が基本的な考え方であることや、他の地域との公平性の観点から、当該校区に限って新たな補助を実施するという判断には至っていない。

答弁

市としては、休校でやむなく通学距離が基準を超えることとなった黒川小学校区の生徒に対する補助は当然と捉えているが、個人には居住地選択の自由があることや、子育ての負担は通学費だけではないといったことを考慮すると、ご指摘の通学費に対して新たに補助を行うことはできないと考えている。経済的負担を軽減してほしいという心情は理解するが、支援の必要性については市として明確に優先順位をつけざるを得ず、現時点で市として当該補助を予算化する考えはない。

その他の質問項目
○学校運営協議会制度導入校の拡大について

いつ

ほか

市民文化

「川西おもる能」今後のあり方聞く

川西まほろば会 久保 義孝

質問

けやき坂地区において毎年開催されてきた「川西おもる能」は、世界的に著名な彫刻家、流政之氏制作の

「おもる座石舞台」で、国指定文化財能楽保持者である金春欣三氏門下の方々が演能するといった高度に芸術的・文化的価値を有する意義深い事業であると考える。また、実行委員会をはじめとする地域住民が大切に育ててきた、本市にとって大切な文化であると認識している。

しかし先般、この事業が廃止されるといった話を耳にしており、継続する観点で議論されないまま結論が出されることを危惧していることから、おもる能の今後の方向性をどのように考えているのか伺いたい。

答弁

川西おもる能は、「川西市に一流の芸術を」という市民の発案により、平成4年10月から川西りんどう祭の一環として始められたもので、地域住民による実行委員会が運営を担ってきた芸術・文化的に優れた新能である。

この事業は、長きにわたって培われてきた貴重な催しであると認識しているが、事業を支えてきた実行委員会が高齢化や担い手不足を理由に本年8月に解散されていることから、その判断は尊重せざるを得ないと考えている。

答弁

市としても、実行委員会の解散による廃止は非常に残念であるが、解散の報告を受けて、おもる能の文化的価値を再認識するとともに、地域住民主体による地域のイベントという位置

付けがいつの頃からか定着し、実行委員会に任せきりになっていたことが反省する点である。

今後、改めて委員長・副委員長を中心とする実行委員会の方々の考え方を確認し、演者の意向も踏まえた上で、原点に立ち返ってあり方を検討していきたいと考えている。これまでと同じ形では継続できない可能性もあるが、本市で育った文化を断ち切ることなく次へバトンを渡せるよう、開催手法等について模索していきたいと考えている。



川西おもる能



受理した陳情



- 人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること
- 精神保健福祉施策に関する要望書
- 公共料金（社会体育施設関係）の値上げに関する要望書
- 要望書（「学校施設の長寿命化計画」とは別に「川西市公立小中学校バリアフリー化計画」を全小中学校を対象に策定すること。そのために、身体障害者に対する障壁の除去だけでなく、視覚障害・聴覚障害・精神障害・知的障害等が様々な障害に対する障壁の除去、LGBTQ等の人たちのニーズなど多角的な現状調査を早急に行うこと等）
- 住民の願いにも「基本協定」にも反する「北部診療所計画の取りやめ」を撤回し診療所建設を含む北部地域医療の充実を求める要望書
- 要望書（障がい者の親なき後について等）
- 要望書（障がい者の親なき後問題について等）
- 要望事項（親亡きあとの[子どもの居場所]について等）

かわにし市議会からのお知らせ

●一般質問の日は午前9時30分から本会議を始めます

一般質問を予定している日は、午前9時30分開議・開会となりますので、ご注意ください。

また、本会議のほかの議会運営委員会、常任・特別委員会などについては、本会議と併せて開催予定をホームページ等に掲載していますので、傍聴の際の参考にしてください。

なお、これらの会議は当面の間、マスク着用やこまめな換気などの新型コロナウイルス対策を実施した上で開催することとしていますが、傍聴については、慎重にご判断いただくようお願いいたします。

また、感染拡大の状況等によっては急きょ会議の開催予定が変更になることがありますので、最新の情報はホームページをご覧ください。市議会事務局へ直接お問い合わせください。

●ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議の開催日程、会議録や議員の政務活動費などについても掲載しています。

また、現在9月定例会、10月臨時会の本会議の様子を録画配信しています。本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることができますので、ぜひご利用ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、会議開催予定に変更がある場合は、随時ホームページに掲載します。

12月定例会(予定)

11月25日(木)	午前10時	本会議(招集日)
26日(金)	//	常任委員会
30日(火)	//	本会議(議案表決)
12月 2日(木)	午前9時30分	本会議(一般質問)
3日(金)	//	本会議(//)
6日(月)	//	本会議(//)
7日(火)	午前10時	常任委員会
8日(水)	//	//
9日(木)	//	//
24日(金)	//	本会議(最終日)



●表紙の写真について

- ①黒川ダリヤ園 ②知明湖キャンプ場周辺 ③黒川公民館 ④満願寺

広報委員会

委員	委員長
副委員長	委員
秋田 修一	中井 成郷
磯部 裕子	岡留 美子
吉岡 健次	田中 健次
平岡 麻未	田中 健次
輝男	輝男

緊急事態宣言が9月いっぱい解除となり、これを書いている11月半ば現在では、新型コロナウイルス感染症の患者数が大幅に減少しています。一人一人の行動とワクチン接種の効果が相まっての結果であると思えますが、ここで気を許すことなく、第6波が来ることのないよう、みんなで食い止めていきたいと思えます。

さて、朝晩がめっきり冷え込むようになってきました。空を見上げると、透き通る青さや白い雲、そして景色までもがくっきりとクリアに見える気がします。コロナが明けた社会も、見通しが良くなり、当たり前の日常を取り戻せる日が一日でも早く来ることを願うばかりであります。

川西市議会では、10月の臨時会におきまして、今期最後の役員選出を行いました。詳細は次号の新年号でお知らせいたしますが、議員一人一人がそれぞれの役割をしっかりと担い、市民福祉の向上に努めていきたいと思えます。